



2016年1月発行 第33号 / 1号





世界中で 読まれている NAの定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジン では、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 お問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine) : ISSN 1046-5421、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

2015年のNA Way マガジン10月号では、紙版とインターネット版の両方を購読している読者にむけて、紙版の購読中止をうながした。ありがたいことに、実に多くの方々購読の重複をなくすようにしてくれた。そこで、次に私たちのやるべきことは、紙版と重複している購読者に関するデータベースを削除することである。これで印刷費と配送費が削減されるため、その分の予算をほかのさまざまなサービスによってNAのメッセージを運ぶために使えるようになるだろう。今後とも、この取り組みに協力をお願いします。

さて、これを読まれるころ、NAではいわゆる「カンファレンス・シーズン」となる。『カンファレンス アジェンダレポート(CAR)』は、CARに関するワークショップのためのプレゼンテーション・ビデオをはじめ、2016年度ワールド サービス カンファレンスに関するさまざまな資料を添えて発送され、インターネットにも掲載されている。それだけではどうということかさっぱりわからないという人も、今月号を読めば、わたしたちがいろんなアイデアを生み出してNA全体による意志決定を行うまでの経緯がわかるだろう。しかも、インターネット版の方には関連情報へのリンクがいっぱい張られている。

これを書いている今、世はまさに長い冬休みによる賑わいのなかにある。キャンドルやまばゆいイルミネーションが夜を照らすと、人恋しさで肩を寄せる相手がほしくなる。一年の終わりには、多くの人が人生から失われた輝きについて思いをはせる。それは家族のだけかであったり、友人であったり、世界中にいるNAの仲間たちであったりする。この世にはもう存在しなくても、わたしたちの人生をととも輝かしいものにしてくれた人たちと共に生き、愛を分かち合った事実まではなくなならない。それが喜びでなくて何であろうか。

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	ワールド サービス コンファレンス	10
• 与えているのに、いただいている		NA文献の価格設定	12
得をしたら、おすそ分けしよう	4	『伝統』に関するプロジェクト	13
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	フェローシップ ディベロップメント	15
わかちあい	5	• アフリカ	
• 信じる気持ち (その2)		• 若すぎるということはない : YCNA	
• 話を聞いてくれて、ありがとう		• ロシア、ウクライナ、モルドバ、カザフスタン	
• 木を見て、森を見ず		カレンダー	17
• すべては変化する		NAWS Product Update	19
ウェブミーティング	8	Coming Soon	20
グループ紹介	9		

Electronic subscribers can click here for additional content.

今月号の10ページと、www.na.org/conference のカンファレンスのページをご覧ください。WCSについて詳しく知ることができるよう。

NA Way マガジン では、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



与えているのに、いただいている

ナルコティクス アノニマスのなかでは、サービスをするのは「お返しをすること」だとされているけれど、このような考えには肝心なことが抜け落ちていきます。どういうことが、説明しましょう。

わたしは17歳で薬に使い始め、それからの40年は使うことが「人生に対処する」すべとなりました。アディクションのことはひた隠しにしつつ、有能で、元気で、外交的で、成功した人間であるかのように世間に見せかけていましたが、それがうまくいったのは最後の数年までのこと。場末のうらぶれた小劇場であきもせず演じ続けたショーでした。うまく演じ続けようと必死に努力したものの、ショーはお開きとなり、わたしはボロボロになりました。おかしくなってだれからも相手にされず、自暴自棄になり、すっかり打ちのめされた状態で初めてNAのミーティングに出席したのが、（これを書いている）ちょうど一年前。わたしは58才になっていました。

これでひと安心。すると、これまで見えなかったものが見えてきて、じっくり時間をかけて自分を振り返ることができ、気づきや変化がもたらされる。とまあ、そんなこんなの1年でした。正直さが今のわたしの「北極星」です。そして、スポンサーができて支援の輪もひろがり、治療にも通って、日々黙想をし、神を新たなよりどころとしてせつせとステップワークに励んできました。それによって、わたしはようやく絶望しきった状態から脱けだして成長に踏み出しました。どん底に落ち込んでいたわたしが、目的意識やつながりの感覚をもつまでになったのです。人生には困難がつきものだとしても、NAのおかげで極意がわかりました。それを知らずにいたために、わたしは希望をもつことも安らかな気持ちでいることもできなかったのです。つまり、わたしはひとりではないということ。これからも変化や失望や喪失や悲しみによるさまざまな困難などいくつもの難関に直面することになるでしょうが、わたしはもうひとりじゃないのだから、かつてのように自分ひとりで抱え込んで苦しむ必要はないのです。だから、わたしはもう使わなくてもいられます。そしてわたしはついに、やっとのことで、本物の喜びを知りました。幸せとしか言いようがありません。あのわたしが仲間恵まれて自分自身を思いやれるようになるなんて、感謝の気持ちでいっぱいです。

感謝の気持ち。それがあから、わたしは役に立ちたいと思います。これまで非常に多くのものを惜しみなくいただいたのだから、それを今度はほかの人に与えることでつないでいくのです。わたしは、初歩的なことから始めていきました。ホームグループにつながって、ミーティングの会場係をやらせてもらったのです。とってもいい気分でした。みんなの仲間入りをして、信頼され、尊重されていると感じました。あら、やだ。わたしはただお返しをしていただけなのに、それがわたしにとって贈り物となり喜びになったのなら、実際にはわたしはNAからさらに多くのものをいただいていたというわけです。

そこで、わたしは倍の努力をしてさらにお返ししようと、グループのセクレタリー（世話役）を引き受けました。ミーティングには早めに行き、会場の準備とコーヒーを入れるのを手伝いました。カップケーキを焼いて、寒い日にはお茶を、暑い日には角氷を持参しました。そうやってサービスにたずさわるときに貢献させてもらえることに喜びをおぼえたことが、何よりもありがたかったのです。あらまあ。自分では与えているつもりなのに、むしろ自分の方が得しているじゃありませんか。これって、前と同じです。

そこで、わたしは一步を踏み出して、新しいミーティングの立ち上げを手伝いました。こうすれば、これからつながるアディクトやミーティングがないところにいる仲間たちのために尽くすことになると思ったのです。それによってわたしは、仲間との交流がひろがり、感謝の気持ちが深まり、自分の回復に本気で取り組むという意識が強まることになりました。ここまでくれば、おわかりでしょう。そう、わたしの意図は無償で与えることだったのに、またもや宝物をいっぱい手に入れることになったのです。

要するに、与えようとするほど自分が受け取るものが増えていったことで、わたしにはさらに与えようという強い気持ちが生まれ、それが最終的にさらに多くの贈り物をわたしにもたらすため、わたしはますます与えたくなり、それによってわたしは実に豊かになっていくというわけです。これを抜きにしてサービスのことは語れません。それが最初に言いたかったことです。無私の心に報いるのは、もっとお返しをしようといういろんな方法を模索する意欲なのです。

といっても、わたしにはとうてい返しきれません。いくらがんばってほかの人を支援しても、わたしが恩恵を受けるのは避けられないことですから、返しきれないわけがないのです。けれども、わたしは今、仲間たちによって癒され、支えられ、理解され、刺激を受けているので、そのことに感謝する気持ちによってこれからもずっと努力を続けていくでしょう。

マリアン・W（アメリカ合衆国/マサチューセッツ）

私たちは、自分に与えられたことへの感謝の気持ちと明日への希望によって、お返しをしながら別の人に与えることによって回復という真の報酬を得る。心を込めて役に立とうとすることは、スピリチュアルに生きることである。まず、自分がいただき、それを人に与える。そうやって私たちはわかちあうのだ。

『リビングクリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』、第3章「スピリチュアルな道のり」



得をしたら、おすそ分けしよう！

NA Wayの予約購読に変更があります。

2015年の10月号では、みなさんにインターネット版NA Wayの予約購読をうながし、それによって私たちが経費の削減に取り組むということをお話しました。その際に、インターネット版の購読者には自分のところに配信されたNA Wayをみんなで読めるようにしてもらい、紙版の購読者にはインターネット版に切り替えることをお願いしました。それとともに、インターネット版と紙版を重複して購読している人には、紙版の購読をやめていただくようにもお願いしました。このようなお願いにみなさんが応じてくださり、インターネット版の購読を決めていただいたことに感謝しています。

では、私たちが次にすべきことをお伝えしましょう。

いまだにインターネット版と重複したままになっている紙版の予約購読は、2016年で打ち切らせていただきます。インターネット版の購読者には、これまでどおり年に4回メール配信されることとなります。ですから、これからは紙版では読めない記事をお楽しみいただけるでしょう。しかも、インターネット版の購読によって印刷費と配送費がかからなくなるため、その分の予算をNA Wayマガジン以外のさまざまな方法でNAのメッセージを運ぶことに使えるようになるのです。こうして私たちみんなが得をして、その分をおすそ分けしていきましょう！

参加方法が決まったら、www.na.org/subscribeでお申し込みください。

(件名「得をしたら、おすそ分けしよう」のEメールnaway@na.orgでも申し込みめます)

みなさんがこの取り組みに参加してくれば、こんな心強いことはありません。

得をしたら、おすそ分けしよう！

ベーシック・キャプション・コンテスト



Dan H, California, USA.

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック[漫画]のキャプション[短い説明文]を書いて送っていただければ、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前がのるというのも、なかなかいいものではないでしょうか。申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先はnaway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。

◆ ◆ ◆ ◆ わかちあい 信じる気持ち（その2）

う～ん、はて、さて。これは、だれかのイタズラだろうか。それともただの偶然か。あるいは、スポンサーのひとりが言いそうなことだけど、もしかして「神のなせるわざ」？ まあ、聞いてよ。あたしは、来月に結婚する友だちのヘン・パーティー（花嫁のための独身お別れパーティー）から帰ってきたところなんだけど、パーティー会場に着く直前に、ある機関からメールを受け取ったの。あたしは受講したい講座があって、この機関に財政援助の申請をしたのよ。そして、パーティーから帰宅する途中で、講座のお金を受け取ったかという問い合わせのメールがきた。この2通のメールに挟まれて、あたしは悩んだ。「自分の申請状況について確認すべきだろうか」。そしてふと、「NA Way マガジンに続編を投稿してみるのもいいかも」って思ったの。

「それで、アン・マリー……講座のお金はもらったの？」。問い合わせのメールをみつめながら、あたしはひとりで笑っていた。お金はもらえたわけ？ なぜか、あたしは自分に向かってゆっくり聞き返した。もちろん、その皮肉な状況は認識していた。

早い話が、ダメ。お金はもらえなかった。というか、当てにしていた例の機関からはもらえなかったの。だったら、何を手に入れたか？ あたしは、地方誌に記事を3つ書かせてもらえることになって、そのうち2つは掲載されたの。つまり例の機関がダメだったから、同種のいくつかの機関に連絡したら、あたしが進みたいと思っていた分野で職場体験をしないかという申し出が2つあったの。さすがのあたしも、いきなり現実に引き戻されて、のらりくらりと自問してりゃいいってわけにはいかなかった。

前回の投稿で、あたしはこんなことを書いた。「それでも、わかってることがある。あたしは前にもこういう空回りの状態になっていたってことよ。神はお見通しなんだから、あたしにはただ行動あるのみなよ。あたしにふさわしいことなら必ず与えられるし、ふさわしいことでなければ残念な結果に終わるはず。だけど、よく言うじゃない。『拒絶は、神の保護』だってね。それならあたしは、どうすればいいかわかるまでひたすら行動していくわ。そうやっていこううちに、神がうまく計らってくれるはずだよ」ってね。それなのに、あたしはがっかりしてるのかって？ 当たり前じゃない。なんとなくうまくいって、日曜の朝みたいにお気楽にかまえていたんだもの。あたしの計画は直進あるのみ。でも、神の計画はそうじゃない。

だから、一体どうなったのか、本当のことを知りたいわよね。つまり、こういうことだった。あの時点では、あたしはあらゆることにゴーサインをもらって、気分もよく、前向きに受け止め、希望ももって、人生に目的意識と方向性があるように思っていたの。そこで、あたしは……気分転換をはかった（薬物じゃないわよ！ あたしは2014年の5月23日に10年に及ぶ回復を祝ったんだもの）。そして、「それで、アン・マリー、お金はもらったの？」という質問がだんだん読めてくると、こんなときに気晴らしをすることの意味やそれが自分にどう役立つのかということも、はっきりわかってきたのよ。

ひとつには、職場体験をやってみるか、やらないことにするか、心を決めかねている不安をとりつくろうことになった。だってね、4月23日には、あたしは例の入門講座を受講する予定になっていたのよ。すでに受講料も払って、ものすごく楽しみにしていたんだから。そしてやる気満々で大学の校舎に着いてみると、講座は取りやめになっていて、あたしはそんなこと知らされてなかったってわけ。あくまで事実をきちんと伝えるなら、あたしにはちゃんとスピリチュアルな知らせが届いていた。講座の開始予定の前日に、受講料に収めた小切手が郵便で返送されてくるというかたちでね。これでピンとこないなんて、アン・マリー、「あなたの目は節穴なの？」。でも、あたしはとっさに思った。「ノ！ノ！この小切手を現金にして、お金は懐に入れて、そのまま講座を受けちゃお」。大学に電話して、自分がまだ講座に登録されているかどうかを確認することは、真っ先に「考えつかなかった」。けど、あたしは一生懸命まじめにプログラムを実践している。だから結局、大学に小切手を持って行くことにした。そしてもし、あたしは小切手を返送されたので登録されていないと言われたら、小切手を返すか、その小切手で受講料を払い直せばいいのだ。最初からまっとうに考えていたら、そんな手間は省けたし、講座だって受けられたはずなのよね。というわけで、職場体験のことに話を戻そう。あたしは入門講座を受講していなかったから、予備知識なしで職場体験をすることになるのが不安だった。コンピューターなしでコンピューターの使い方を習うようなもんでしょ。それで、気を紛らわすことで決断を回避できたの。

ふたつ目は、気を紛らわすことによって、お金を稼げない可能性があっても不安なそぶりを見せずにいられた。気をそらしていれば、くよくよ考えずにすんだ。

3つ目は、気晴らしをすることで、実は神を心から信頼しきれないという不安

Electronic subscribers can
click here to read
"Faith, part one."

をごまかせた。前にも、拒絶は神の保護って言ったでしょ。だから、あたしのためを思って拒絶されるなら、拒絶はあたしのためになるんだろし、そうでないなら、あたしのためにはならないってことよ。それがわかるまで、あたしはひたすら行動するだろう。そうするうちに、神が何とかしてくれる。つまり、気を紛らわしてあげれば、頭では神が何とかしてくれるとわかっていても心で実感するまでには時間がかかるということ、思い詰めないでいられる。頭と心ほど遠く隔たっているものはないとは、よく言ったものよ。

最後になる4つ目は、気晴らしは、これからどうすればいいのかと悩むことによる不安をまぎらわしてくれる。あたしは、この先どれだけのことをうまくこなさなきゃいけないのかわからなかったし、わからないでいるのは嫌だった。もうひとつの入門講座を受講しようとしたんだけど、一日遅れで開始に間に合わなかった。こうして当てがはずれて先が見えなくなると、不安にかられた。気晴らしは、不安をまぎらわせてはくれたものの、責任のなすりあいからは気をそらしてくれなかった。神が悪いのか、それともあたしが悪いのか？ あたしは自分を責めるようにもなった。なんであたしは、取りやめになるような講座を選んでしまったのか？

どうして、あたしは水晶玉を磨いてこん

もちろん、

ステップ11に取り組むことも、 必ずやりたいことのひとつよ。

なことになるのを予見しなかったのか？
なんで、もうひとつの方の講座に登録しなかったのか？ そっちにしとけばよかったのよ。神さま、どうしてあたしにそう言ってくれなかったの？ なんでこうなの、どうしてああなの、もうちょっとどうにかできないの？

「それで、アン・マリー、お金はもらったの？」という言葉が読めてくると、気晴らしはあたしの目的に本当に役立ったのだとわかった。やるだけの価値があったんだわ。だから、あたしはこの種の気晴らしに何度となく手を染めるというわけ。なにも、今に始まったことじゃなかったのよ！ こうやって気を紛らわすものがあると、あたしは現実や不安材料に向きあわなくなるし、先が見えないなかでやっていこうともしなくなる。それどころか、避けて通ろうとする。あたしはただ目標に向かってひたすら努力すればいいだけで、問題なんかありはしないのに、気を紛らわすことによって解決すべき問題ができてしまう。気を紛らわせることで、あたしは鏡ではなくルーペ（

拡大レンズ）を手にする。それで、現実を直視しないようにするために別の現実が見えてくるってわけよ。

でも、それじゃダメなの。だから、あたしはお金をもらわなかったのよ。その代わり、自分のことや、人生のさまざまな場面ですと繰り返してきたパターンについて、新たな次元の気づきを得た。あたしは、自分が進みたかった分野での職場体験の申し出を受けて、記事が3つ掲載された……そして、この記事を書いた。あたしが机に向かって何かを書いて以来、どのくらい経つのか、知りたい？ もう、2ヶ月ぐらいになるわ。例の質問が、あたしにガツンと一発食らわしてくれたから、あたしは現実に立ち戻ってもう一度書けるようになったのよ。

それで、あたしはこれからどうするのか？ 職場体験の申し出を受けて、日にちを決めた。もちろん、この日でお願いでできるかどうか問い合わせたうえで、グリニッジ標準時の午前3時近くには契約書をメールで送信した。それから、別のところから財政援助を受けるために申請書を書き上げる必要があった。最初の支援機関から、あたしの申請に対してフィードバックをもらえることになったので、それがあれば今度の申請はきつとうまくいくだろう。そうやって、こつこつ取り組んでいけばモノになるという考えが、突然心に浮かぶようになったのよ。今度は、忘れないうちに実行しなくちゃ。思い立ったが吉日でしょ（この言葉はテレビで聞いて、気に入ったの）？

そのためにも、あたしは気晴らしなんかしていないで、しっかり現実に向き合わなくちゃ。それがイヤで、あたしは薬物を使ったんだもの。だから、大学の入学案内が発行されるのを気長に待って、別の入門講座に応募するつもりよ。NAのメンバーにも、あたしがやりたいと思ってる仕事をしている若い女性がいるから、この女性に電話して、どうやって就職したのか、実際にどんなことをしてるのか、この仕事のこと話を聞いてみるわ。

ほかには？ あたしが入学を認められた（我ながらよくやった）大学、すなわち、あたしが資格を取るようになる講座を開設している大学に電話をして、あたしが受講できるのは来年になってしまうかもしれないと知らせる。今度もまた財政的な援助の申請にしくじったとしても、講座の受講料を支払うために別の選択肢が示されるだろう。ローンを組むという方法もあるし、宝くじが当たることだってないわけじゃない。もしローンを組むとなれば、入門講座を受講するまでにまちがいがなくやることにするわ。

もちろん、ステップ11に取り組むことも、必ずやりたいことのひとつよ。意識的なふれあいを深め、努力する。なせばなる、なさねばならない。淡々とやればいいのよ。そして最後に、職場体験をき

ちんと終えることができるように、当日は必ず仕事の休みをいれておく。

というわけで、ほら、あのとき2通目のメールを受け取っていなかったらやらなかっただろうということをやれば、きちんとした行動が取れるんだわ。「それで、アン・マリー……」って、今度は何を言い出すやら。

愛すべき仲間たちのなかで

アン・マリー・A (英国/ロンドン)

話を聞いてくれて ありがとう

私は最近になって、「アクティブ・リスニング（積極的に耳を傾ける）」という黙想があることを知った。積極的に耳を傾けるというのは、まさに私に欠けている能力だった。幼いころからずっと、私は心が浮ついて落ち着かず、人でも物事でもひとつのことに集中するのはものすごく大変なことだった。

スポンサーは、わかちあいをする人ひとりひとりにしっかり目を向けることを提案し、「余計なことに気を取られないで、聞いたことを報告しなさい」と言った。それをせっせと実行していたらだんだん集中力がついてきて、頭のなかでどんな考えが渦巻いていようと、ミーティング場面でなにかあると、積極的に耳を傾ける人間になっていた。すると、ミーティングで「スピリチュアルなつながり」をもてるようになった。神が、ほかのアディクトを通して私に話しかけているということに気づいたのだ。

ただ、これまで回復の道を歩むなかでは、何度か自己満足に陥った時期があった。そうなると思う力が落ちてしまい、ミーティングのときにほかの人と話をし、冗談を飛ばし合い、携帯をもてあそんだりして、みんなの集中の妨げになっているというありさまだった。自分では「ちゃんと聞いているさ」と言っていたが、どんな話だったか伝えられないから、聞いてはいなかったのだ。

このような態度は、自己中心的で自分が孤立することになるものだ。私は、ほかのアディクトやハイパーパワーとの検討を重ねるなかで、そのことに気づいた。そして、伝統5のスピリチュアルな原理、すなわち「まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶこと」を実践していなかったことを認めた。私は書くことによって、恐れ、孤立、自己中心性、恨み、自己満足、説明責任、サービスにしっかり目を向ける必要があった。

木を見て、森を見ず

自分の回復とNAに対する私の責任は、メッセージを運ぶことだけでなく、新しい仲間や他のアディクトたちに手本を示すことでもある。どんなアディクトであろうと、アディクトがわかちあうときには、私たちは何があっても聞く耳を持つとする。アディクトたちは、私が聞いてもらいたいときに耳を傾けてくれたのだから、私も同じようにする責任がある。アディクトの話はどれもみな、聞くに値するのだ。

一説によると、今はテクノロジーの時代だから、だれもかれもが電話で話まくっている。もちろん、ミーティング中はいけない。だが、電話なんかのことで頭がいっぱいになっていたら、どう正当化しようとも、私たちは積極的に耳を傾けていないのだ。多くのメンバーが、それも何年ものクリーンタイムがあるメンバーまでが、ミーティングの間にほとんどひっきりなしに携帯で話しているのを目にすると、悲しくなる。グループのフォーマット（ミーティングの形式）では、ミーティングの間は携帯電話を使わないようにとメンバーにお願いしているのに、完全に無視されている。このようなことは、ほかのアディクトを軽視しているだけでなく、グループに対しても失礼なことだ。もしミーティングの間はずっと、あるいはひっきりなしに電話で話をする必要があるなら、話し終えるまで会場の外に出なければいいのだ。さもなければ、一時間だけ電話を車の中に置いてくることにしたっていいだろう。「自分はなぜ、ここにいるのか」と、私たちは自分に問いかける必要があるのかもしれない。

では、共に問題を解決する仲間のみなさん……話を聞いてくれてありがとう！

無名にとどまって耳を傾ける（アメリカ合衆国/テキサス）

俺は、1988年の8月5日から回復の道を歩み、26年以上にわたっているんな地域にあるNAのミーティングに出席した。まず、サンディエゴ インベリアルリージョンの「ノースコースト エリア」で回復の道を歩み出し、ノーザンカリフォルニアリージョンの「ソノマカウンティ エリア」に移った。そして最終的には、ショー・ミーリージョンの「サウス ウェスト エリア オブ ナルコティクス アノニマス」に移り住み、この14年というもの一生懸命にNAのプログラムを実践してきた。

このほか、いくつかの州にも足を伸ばして、それぞれにさまざまなフォーマット（ミーティングの形式）によって行われるミーティングに出席した。そんな俺が、今いるこのエリアで自分の身に起きたことには、いささか面食らっている。こんなことは、ほかのどの地域のNAでも経験した覚えがないんだ。俺はここに引っ越してきてすぐ、ミーティングに出席してこれまで通り12のステップに取り組んだ。そのとき、サンディエゴ時代からのスポンサーと長距離の関係を維持しようとしたんだが、スポンサーは、地元NAにいて日頃から俺を支えて導いてくれる人を探した方がいいだろうと言った。

「スポンサーシップ・ツリー」という考えがあることは、ここに引っ越してきて初めて知らされた。たしかに、俺はそれまでずっと、NAのスポンサーをもってNAのステップに取り組んでいるNAメンバーを、スポンサーにしてきた。そうか。だったら、自分のスポンサーのスポンサーが、『ベーシックテキスト』の執筆に尽力したメンバーや、NAのインフォメーションパンフレット類の制作にたずさわったメンバーであってもおかしくないし、そういうメンバーのスポンサーなら、NAを創設したアディクトのひとりとしてされているメンバーであってもおかしくない。俺はいつのまにか、この考えにとりつかれていた。

それまで6番目の伝統について学んだことは、金銭や名声や所有権に関する部分はもちろんのこと、きれいいさっぱり忘れてしまった。俺は、ナルコティクス アノニマスの根源に直につながったも同然なんだから、これを情報、歴史、経験のデータベースとして利用すれば、いままで自分が経験したことのないような成長と回復がもたらされるだろうと思った。

俺は、プログラムにつながって13年にして、スポンサーシップ・ツリーの一員であることに力を入れるようになり、それからの12年は（なにせ、俺は飲み込みが遅いんで）、スポンサーシップ・ツリーに連なる道をたどった。妄信とっていいほどのめり込み、それまで13年もかけて自分が学んだことなどまったく眼中になかった。スポンサーシップ・ツリーという一本の「木」にぶらさがること心を奪われて、その木をつむ「森」すなわちNA全体を見失ったのだ。

けれども、NA創設のメンバーとよく言われるようなアディクトであっても、やはり回復の道を行くひとりのアディクトにすぎないのだ。その事実を思い出したときに、俺にはスピリチュアルな目覚めが訪れた。だから、大金を賭けてもいい。（俺はお目にかかったことはないが）NAの創設メンバーであれば、仲間たちから違う目で見られて別扱いされることで落胆するだろうさ。そんなことになるのは、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶことに心を向けなくて、スポンサーシップ・ツリーのことばかり考えているからだ。しかも、そういうメンバーが最近のNAでは多くなっている。

自分のために最高のナルコティクスアノニマスのスポンサーを持つことは、多くのアディクトにとって大事なことだ。それは俺もわかっているし、自分の回復の来歴に誇りを持つのも悪いことではない。だが、俺は、ひとつのスポンサーシップ・ツリーに連なることに心を奪われたあまり、自分の回復も、回復のプロセス自体も忘れてしまった。この2つほど、NA全体にとって本当に重要なことはないのだ。

NAによって、俺は自分よりも大きなものの一部になることができる。それは、自分のスポンサーシップ・ツリーよりも自分のエゴよりも、ずっとずっと大きなものだ。俺は、枝の一本もしくは葉っぱの一枚になることで、木々の森の一部となつてあるがままの現実を生きる。森にある木々はみな、共通の根っこで一つにつながっている。つまり、俺はナルコティクス アノニマスのプログラムに身を置くアディクトなんだ。

マイケル・R（アメリカ合衆国/ミズーリ）

すべては変化する

わたしはひとつのミーティング場で、何年にもわたってサービスをしました。このミーティングは、日曜の夜を過ごすのもってこいだったのです。いつも親しい仲間が車で迎えに来て、途中で牛乳を買い、会場に着くと二人して椅子を並べ、コーヒーの用意をして、よそのグループのメンバーたちと挨拶を交わしつつ、準備を整えていきました。会場に早めに来て、ひとり、またひとりと、ドアから入ってくる仲間たちとハグを交わすのは、ステキなことでした。そうやって訪れる相手をハグで迎えていると、ミーティングが我が家のように思えてくるのです。そうでなければ、何年にもわたって毎週日曜のあのミーティングがわたしの居場所になることもなかったでしょう。

それからしばらくして、わたしは隣町に引っ越しました。車がなかったため、あらためて（フランス語ではなく）英語のミーティングを開くことにしたら、かつてのホームグループには行かなくなりました。歩みを止めないのだから、それでいいのでしょう。すべては変化するってことじゃないかしら。

けれども、ある晩のこと。わたしは前に住んでいた地域まで来ていたので、かつてのホームグループに行ってみることにしました。会場のある建物に続く階段を上っていると、家々の向こうに日が沈むところでした。階段に座って眺めていると、通りが黄昏色に包まれていく。そんな夕暮れのなかでわたしはとても感傷的になり、かつてスポンサーだった女性に思いをはせていました。あの日曜のミーティングで出会ったのですが、もうずいぶん長いこと連絡がありませんでした。ミーティングの終わりにみんなで輪になると、わたしはいつもあのひとのことを思っていました。わたしが黙とうを捧げる相手だったのです。

そのとき、丘を降りてくる人影がありました。逆光で顔が見えず、輪郭ではあったけれど、その歩き方には見覚えがありました。その人影はのんびりした足取りでやってくると、勢いよくわたしに抱きついて、こう言ったのです。「ここにきたら、やっぱりあなたがいたわね」

あの夜に、わたしたちのスポンサーシップは復活しました。しばらくうまくいったものの、あのひとはとどまっていられなかった。それもしかたありません。すべては変化するのですから。それからはずっとあのひとに会っていませんでした。正直なところ、ここしばらくは思い

出すこともなかったのです。最近、ミーティングの終わりに輪になっても、わたしの頭にはほかの人たちがいました。どうやら、クリーンでいる時間が長くなればなるほど、黙とうを捧げる瞬間も長くなるを得ないようです。

それが昨日になって、あのひとが亡くなっていたとわかり、わたしは悲しみに沈んでいます。31才でこの世を去ることにしたなんて。もう二度と、ああやって抱きついてくる腕に触れることができないなんて。そして、あの懐かしい「わたしたちは昔からの友だちだった」と思える心地よさも、安心感も、愛おしさも、もう二度と感じることはできないなんて。ただ、ただ、悲しくてなりません。

カイラ・F (カナダ/ケベック)

ウェブ・ミーティング

ウェブ・ミーティングでは、情報交換をしながら共通の問題に対する解決策を話し合うことができます。次回の「パブリックリレーションズ（広報）とH&I（病院施設）」に関するウェブ・ミーティングは、2016年1月に開かれます。ひとりでも多くの参加をお待ちしているので、ぜひ参加登録をお願いします。

2015年11月には、「施設入所者のステップライティング（ステップについて書くこと）」に関するウェブ・ミーティングが開かれました。また、今後は、「施設入所者のステップライティング」に関する委員会もいくつか結成されるので、みなさんにはぜひ、その立ち上げに参加していただきたいと思っています。「施設入所者のステップライティング」に関するウェブ・ミーティングに参加希望と明記して、the HandI@na.org 宛てにお申し込みください。

以下にあるウェブ・ミーティングのいずれかに参加を希望する場合には、氏名、連絡先（Eメール アドレス）、奉仕を任されるしもべの（奉仕を任されている）役割、所属リージョンを明記するとともに、議題に取り上げてもらいたいと思うことを書き添えてお申し込みください。

- Events@na.org コンベンションに関する話し合い
- HandI@na.org 病院および施設に関する話し合い
- PR@na.org パブリックリレーションならびにパブリックインフォメーションに関する話し合い

以上のウェブ・ミーティングの議事録は出席者によって作成されるため、そこには出席者たちがさまざまなサービスに取り組むなかで検討すべき課題や、メンバーたちが関心を寄せている話題が提示されます。だから、みなさんが申し込みをされる際にアイデアをお知らせいただくことが重要になるのです。どうかご協力ください。

グループ紹介

NA Wayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしております。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いいたします。

テヘランより

多くのホームグループを紹介します。名前は「メッセージ・オブ・フリーダム（自由のメッセージ）」。このグループは、14年ぐらい前にテヘランの北部にある公園にできました。毎晩、9時30分から11時までミーティングを開いています。ミーティングが終わるとお茶を出していますが、メンバーが持ち寄ったキャンディーやチョコレートなど、お菓子が添えられることも少なくありません。そうして何時間にもわたり、夜が更けるまでお互いに親交を温めることになるのもたびたびです。

月曜日は、NAの書籍やパンフレットを読むスタディミーティング。火曜の夜はQ & Aのミーティングで、金曜は伝統ミーティングを開いています。また、火曜の夜にはクリーンタイムを祝います。クリーンになって1年のメンバーには必ずケーキとキャンドルが提供され、クリーンタイムが1年を超えるメンバーたちは各々のスポンサーが同席してお祝いをします。グループからキータグが渡されるので、スポンサーはメダリオンを贈ることが多くなっています。そして、このお祝いのミーティングで新しくつながった仲間には、クリーンタイムを祝うメンバーたちがケーキとキャンドルを捧げることも珍しくありません。

みなさんがこちらに来るようなことがあったら、ぜひ、テヘランのバージガー・パーク（バージガー公園）のミーティングにおいでください。

マハムード・B（イラン/テヘラン）



ワールド サービス カンファレンスは・・・

…… ナルコティクスアノニマス全体の共通の福利を推し進めるために、NAワールドサービスの総力を結集する。こうして2年おきに開催されるカンファレンスに世界中のNAが結集することにより、NAの現在と未来に影響を及ぼす問題が自ずとあらわれてくる。

さらに詳しく知るにはwww.na.org/conferenceで『ガイド・トゥ・ワールドサービス・イン・NA』をご覧ください。

カンファレンスが開かれるまでの2年間に、世界中のNAのメンバーおよび奉仕を任されたしもべたちは……

問題点を確認しながら
議論を重ねる



意見を収集する



さまざまなアイデアをはぐくむ



研修会やワークショップ
を聞く



提案や動議を書面
にする



世界中のNAから寄せられる問題や意見やアイデアは 提案や動議に生まれ変わる。それが、重要な最新情報や報告が盛り込まれるCAR（カンファレンスアジェンダレポート）に掲載されることにより、WSCで検討すべき議題となる。



世界中のNAメンバーたちがCARとCATについて議論を重ねることでそれぞれのリージョンの代表に意見を提供する。

カンファレンス レポートはWSC開催の直前に発行され、さまざまなプロジェクトに関する最新情報やWSCの議事進行に関する大まかな手順などがわかるようになっている。このほか、リージョナルレポートやゾーナルレポートも盛り込まれている。

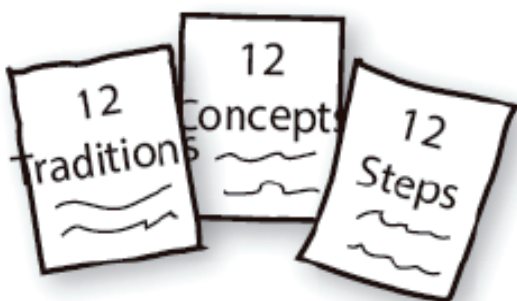
次回カンファレンスまでの2年間を通して

さまざまなアイデアや問題が浮かびあがる

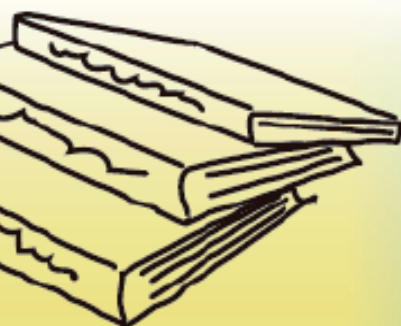
資料がまとめられ、配布され、グループの良心が

To access or purchase the Conference Agenda

WSC (ワールド サービスカンファレンス) は、私たちの第一の目的と、NAの『12のステップ、伝統、概念』にあらわされる原理と、愛なるハイヤーパワーとによって導かれる。



2016年
ワールド
サービス
カンファレンス
4月24日~30日



WSCには、議決権のある各リージョナルデリゲート（リージョンの代表）がそれぞれのリージョンの良心を運ぶ。こうして集まるリージョンの視点はさまざまであっても、WSCはNA全体の共通の福利のために機能する。1週間わたる開催により、文献、フェローシップディベロップメント、広報、選挙、プランニングなどに関する決議や議論がみっちり行われるが、その合間には歌あり、励ましあり、ダンスあり、そしてもちろん回復がある。

2014年度WSCの会議の席で、発言権と議決権をもっていたのは？
(リージョナルデリゲートとワールドボードのメンバーが投票した)

ワールドボードのメンバー 18名
エグゼキューティブ ディレクター 1名

上記以外で、カンファレンスの出席者は
コーファシリテーター(共同の司会進行役) 3名
ヒューマンリソースパネルのメンバー 4名
会議進行の専門家 1名
通訳 4名



CAT (カンファレンス アプルーヴァルト ラック) には、NAWSによる長期的な計画、NAWSの予算、次の2年間にわたるプロジェクトプランが提示され、それ以外にもプランニングやサービス、カンファレンスの関連資料などが盛り込まれる。

7日間にわたるWSCの議事内容を、1時間の時間割にしてみました



新たな議事



話し合い



Q & A (質疑応答)

2014年度WSCをもとに推定される時間。ただし、食事と休憩の時間は除く。

WSCが閉会すると、リージョナルデリゲートたちは今までにない新しいアイデアや視点をたずさえて、WSCの議事と選挙結果を持ち帰る。そして、ワールドボードはNA全体からの指示に従い、これからの2年間にわたる新しいプロジェクトや作業にとりかかる……こうしてまた、すべてが新たに始まる。

話し合われる
があらわれる

ワールド サービス カンファレンス

For a Report please visit www.na.org/conference

NA文献の 価格設定

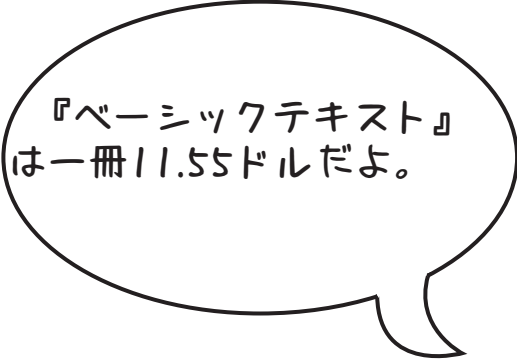
NA Wayマガジンではこれまでに何回か、NA文献の作成と保護に関する記事を集めてきた。たとえば「NAの著作権と文献」、「『ベーシックテキスト』に関する簡単な歴史」、「グループの良心とNA文献」であり、つい最近では「NA文献の年表（インターネット版2015年7月号に掲載）」がある。そして今月号では、このシリーズの第2部として私たちの文献の価格設定を取り上げる。以下の文章は、2016年度のカンファレンス アジェンダ レポートにある長文の小論のひとつ、「NA文献と私たちの第一の目的」から抜粋したものである。

私たちの文献は、サービスや支援を必要とする人たちに提供しやすい値段がつけられている。サービスや支援には文献提供も含まれるからだ。これは、世界的な取り組みとして一本化してNA文献に対する説明責任を一箇所に集中させ、他の12ステップグループのように完全な分権化が行われないうにするということ。NAではずいぶん前に決定されて支持されてきた。NAワールドサービスの収入の90%は文献の売り上げで占められ、その大部分が『ベーシックテキスト』の販売によるものだ。そのような収入の流れを一変するには、ワールドサービスならびにワールドサービスによって提供されるサービスや支援について再考する必要があるだろう。

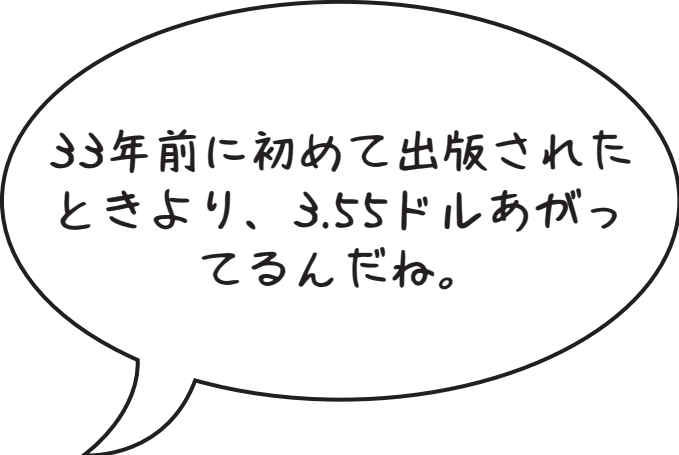
私たちがまさに世界的な集まりとなった現在では、NA文献の忠実性を保護しつつ文献販売によるサービスを支援することはとても一筋縄ではいかなくなってしまい、それだけなおのこと重要度が増した。1993年にFIPTが適用されたときには、ワールドサービスがサービスを提供していたミーティングの数は16,575で、その88%以上が合衆国とカナダのミーティングであった。文献は、IP類やブックレット類、『ベーシックテキスト』のほか、新たに『今日だけ』の英語版と100近い言語による翻訳版を発行した。そしてH&I（病院施設）に限っても、実に4,771.56ドルもの文献を無料で提供した。

そしてNAは今や、132の国々に広がり、毎週63,000のミーティングが77におよぶ言語で行われている。10秒ごとに、世界のどこかで、決まったように平安の祈りを唱えながらNAのミーティングが開かれているというわけだ。合衆国とカナダで開かれているNAミーティングも今では、その45%にすぎない。文献も、毎週のように新しいものがつくられることにより、1,000種類近い翻訳版が発行されている。また、昨年度には、535,599ドルにおよぶ文献を無料もしくは差額支援（割引）で提供することができた……。

そのほかにも、NAワールドサービスがNAを代表して取り組んでいることは広範囲に及んでいるのだが、ほとんどのメンバーの意識にはとまらないものであることが多い。私たちは毎年、長い報告書をいくつも書いているが、それでもNAによる支援活動の一部を要約するにすぎないのだ。それは www.na.org に掲載される年次報告をご覧くださいただけわかるだろう。



『ベーシックテキスト』
は一冊11.55ドルだよ。



33年前に初めて出版された
ときより、3.55ドルあがっ
てるんだね。

ここに掲載した情報は、2016年度のカンファレンスアジェンダレポートから抜粋されたもので、全文はwww.na.org/conference でご覧いただけます。このほかに、NAWSによるフェローシップディベロップメントの取り組みについてさらに詳しく知るには、www.naway.org にあるNA Wayのアーカイブのバックナンバーをご参照ください。

『ガイディング・プリンシプルズ： ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』

これが、私たちの新しい書籍である『伝統』に関するワークブックのタイトルだ。4月に開催される2016年度ワールド サービス コンファレンスでは、このワークブックの承認を求める動議が検討されることになっている。

このワークブックの承認原稿は、カンファレンス アジェンダ レポートの添付資料Aに盛り込まれており、「序文」と12の伝統による12の「章」と簡単な「あとがき」によって構成されている。序文には、この本がどういうもので、どのようにできているかということが書かれている。伝統による各章では、前書き、本文、メンバーやグループやサービス機関への質問事項という順になっている。

このプロジェクトは、2011年度のワールド サービス コンファレンスに端を発する。あるリージョンから、ワールドボードに対して、『伝統』に関するワークブックをつくるためにプロジェクトプランの作成を指示する動議が提出されたのだ。そして2012年にはさっそく、最初の2年間をNA全体の意見収集にあてるというプロジェクトプランが提示された。これにより、どのような書籍にする（べき）かということと、伝統を学んで活かすことにまつわるメンバーの経験と、この2点に関する意見提供を求めたのである。

この最初の2年間（2012年～2014年）には、どのような書籍であればいいかという希望やアイデアについて、世界中のメンバーやグループ、そして各地で開かれたワークショップから大量の意見提供があった。また、12の伝統のひとつひとつについても、2,500ページに及ぶ経験のわかちあいが寄せられた。

2014年から2016年までのプロジェクトプランには、大まかな構想が盛り込まれた。これは、『伝統』に関するワークブックは、メンバーやグループやサービス機関がじっくり読んで、学び、うまく活用するために使えるものであったほうがよいというNA全体の意見を反映したものであった。

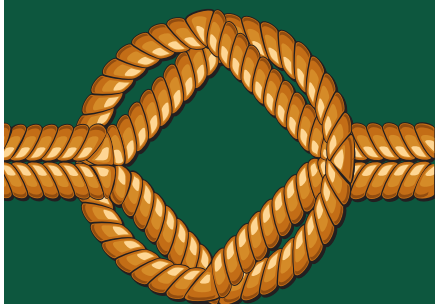
そして2014年の11月に、私たちは「序文」と「伝統1」に関する最初の草稿を発表した。この90日間にわたる1回目の見直し期間には200ページを優に超える意見が提供されたおかげで、各章の構成をうまく整えることができた。次いで2015年には、「伝統2」～「伝統6」に関する草稿を3月に、「伝統7」～「伝統10」に関する草稿は6月に、「伝統11」ならびに「伝統12」と「あとがき」に関する草稿は7月にと、続けて発表していった。いずれも、NA全体による見直しのために最低3ヶ月間は閲覧可能とされた。それによって、少なくとも合衆国の15の州のほか、12の国々をはじめとする世界各地のメンバーやグループやリージョンの委員会から、各章ごとに60～100ページにわたる意見提供があった。実に多くのメンバーたちが真剣に参加して意見提供に尽くしてくれたことに、心から感謝いたします。

『なぜどのように効果があるのか』には「12の伝統」の部が設けられ、このような指針となる原理は規則ではなく、よりどころとすべきものであることをメンバーに思い出させる文章が添えられている。この『伝統』に関するワークブックもまた、12の伝統に盛り込まれている原理の価値と重要性について理解を深めるべく、メンバーたちが実のある議論を交わす助けとなるよう願っている。ワークブックにある解釈、課題、文章、質問はすべて、メンバーたちが伝統を用いてNAで最善とされることを実行するのに役立つように意図されている。私たちが実践する原理と、私たち自身の経験と力と希望とが分かちがたいものになれば、何にも縛られずに大きな成長を遂げることになるだろう。

カンファレンス アジェンダ レポートは、
www.na.org/conference でダウンロードするか、
ワールド サービス オフィスから購入できるようになっています。

NAが一丸となれば、
最良のNA文献がつけられるだろう。

Traditions Book



Project

NAが

一丸となれば、

最良のNA文献が

つけられるだろう！

フェローシップ ディベロップメント

アフリカ

NAWS (NAワールドサービス) は2015年の9月に東アフリカを訪れた。アフリカ大陸ゾーナルフォーラム (AZF) による第3回の会議に出席するための旅であり、そしてまた、ケニアのモンバサとタンザニアのダルエスサラームでNAWSによるワークショップを主催し、タンザニアの第1回リージョナル ミーティングに出席するための旅でもあった。

アフリカ大陸ゾーナルフォーラム (AZF) は、9月16日~18日にケニアのモンバサで開催された。アフリカ大陸にある13のNAの代表たちが、ワールドサービスの資金援助を受けてケニアのモンバサに集まり、アフリカ大陸のフェローシップ ディベロップメントを続けていくなかで支援し合う方法を話し合った。

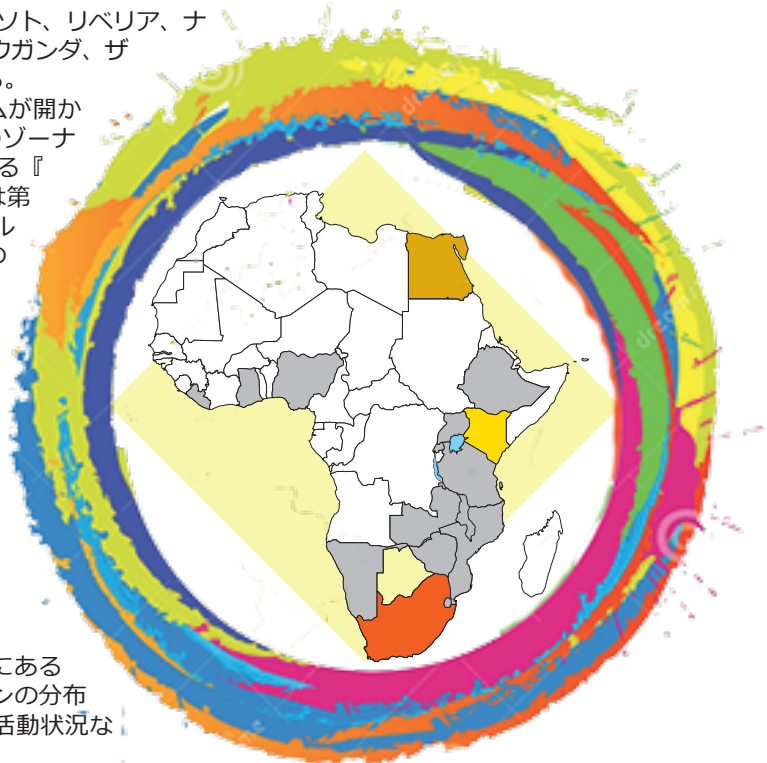
AZFのなかでワールドサービスコンファレンスでの議決権をもっているのは、南アフリカのNAだけである。それ以外の国や地域にあるNAは小さくて、1つないし2つのミーティングを開くのがやっとのNAもあつたりするが、それでも成長しつつある。このようなNAにとっては、一緒になってNAとサービスについて話し合える場はかけがえのないものになっているのだ。

AZFのメンバーになっているNAは、エチオピア、ガーナ、レソト、リベリア、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、ウガンダ、ザンビア (会議には欠席した)、ザンジバル、ジンバブエである。

以上のNAでは、2013年の5月に初めてゾーナルフォーラムが開かれて以来、実にさまざまなことがあった。なにしろ、今回のゾーナルフォーラムの会議をはさんで、タンザニアでは1週間にわたる『伝統』と『概念』に関するワークショップが開かれ、ケニアでは第10回NAラーニングデイ (研修会) が開催されたことや、ダルエスサラームでの第1回リージョナルミーティングには、35のミーティングを開いている11のグループが勢揃いして、初めて作成されたPR (広報) のポスターがおひるめされたことなど、あげていけばきりがない。まずはケニアのNAが行動を起こし、それに続くNAが増えていったことで研修会が次々と開かれた。それによって今や、ほぼアフリカ全土で広報活動が行われるようになりつつある。また、翻訳に関する取り組みも増加の一途をたどっている。アムハラ語 (エチオピアの公用語) によるいくつかの翻訳作業を進めることで、アムハラ語のインフォメーションパンフレット (IP) # 1が発行されたほか、ズールー語 (南アフリカ共和国のズールー族の話す言語) によるIP # 1も近々発行の予定になっている。

編集者記：

アフリカン (アフリカ大陸) ゾーナルフォーラムは、世界中にある15のゾーンの一つです。www.na.org/future では、各ゾーンの分布が一目でわかる解説画像のほか、各ゾーンのメンバー構成や活動状況などを表にした資料がご覧いただけます。



A Z F の未来像：

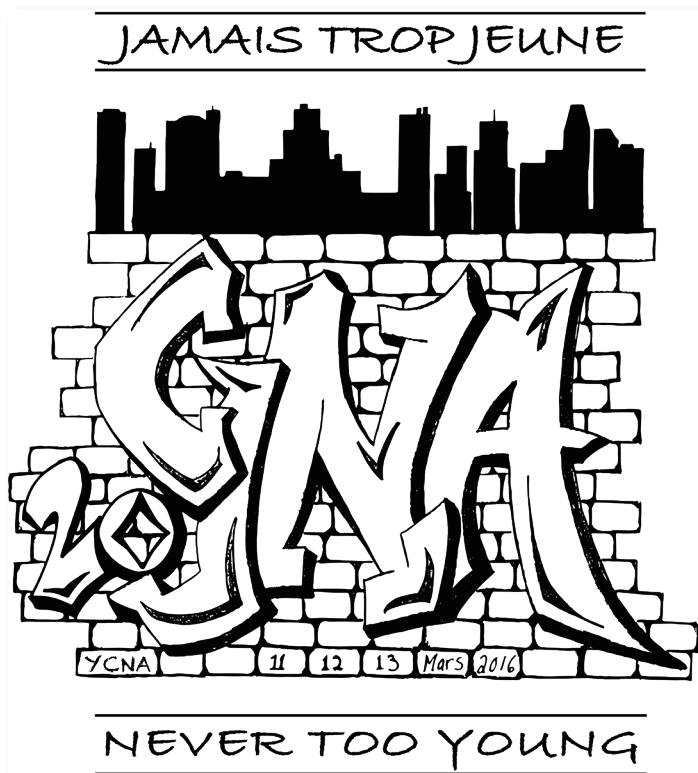
私たちが心に描く未来は、アフリカのアドイクトがみな、自分の話す言葉でわかりやすく書かれたNAのメッセージにふれる機会に恵まれることだ。

若すぎるということはない: YCNA

ぼくは、マシュー。カナダのケベック州モントリオールで回復の道を歩むアディクトだよ。「ユース (若者による) コンベンション」はNAではひとつしかなくて、これまでずっと、ぼくのリージョンが開催地になってきた。それが、今年 (2016年) の5月で20周年を迎え、「若すぎることはない」というテーマで祝うことになっているんだ。この「ユース コンベンション」によってNAに貢献する方法がわかったという回復の道を歩むアディクトは少なくないし、長年にわたり、世界中からいろんな仲間が参加してすばらしい出会いにも恵まれてきた。けれども、そうなるまでのことはあまり知られていない。

今をさかのぼって、1995年。若者をはじめとしてさまざまなNAメンバーたちが、どうすれば若い人たちの回復とサービスにうまく取り込めるかと自問するなかで、若者向けのコンベンションというものが一つの案として考えられるようになった。当時は、年齢の若いメンバーの多くがNAに仲間入りしているという感覚をもてないまま、時間を無為に過ごしていたからだ。そういう状況で、この考えは次第に現実味を帯びていった。若いメンバーたちが集まり、ある経験豊かな回復の道を行くアディクトの力添えでビジネスミーティングを開くようになった。こうして若者のグループが通常のNAグループに加わったことによって、「ユース コンベンション」が現実のものとなっていった。1997年2月には、NAで初めての「ユース コンベンション」が開催されたのだ。学校を会場にして、400名の参加者があった。これまでになく、新鮮で、型破りなものだったが、それだけに物議をかもしずにはおかなかった。

ぼく自身も、第1回のYCNAに参加した。自分が尊敬できる若いメンバーの数に、圧倒された。当時19才だったぼくは、同世代で回復の道を歩むアディクトたちによってようやく仲間意識を抱くことができたんだ。それで、これを1回で終わらせないために、親しい仲間2、3人と一緒にサービスに関わることにした。ぼくらはむしろ当事者として、YCNAがNAの若いメンバーたちの心を動かしたことを事実として知っている。だから、世界中の若いメンバーたちがNAという場にとどまってこの死に至る病から回復できるように



にすべく、ぼくらは「ユース コンベンション」に本腰を入れた。そして、少なくともぼくは、YCNAによって命を救われたと言ってもいい。ひとりのぼくは、実行委員会ですべてのサービスに関わっているとき以外は生きていく気がしなかったからだ。

こうして何年にもわたってサービスに関わる間には、経験の浅いメンバーたちに対応することや、ケベックリージョンとつながりができたことによる慌ただしさや、経済的なことと、次から次へといるような問題に直面した。けれども、ぼくらはこれまでの経験があったし、この実行委員会を大事に思う気持ちと、NAのことを学んでNAの役に立ちたいという意欲があった。それが、続けていくための原動力になったんだ。そしてYCNAは大きくなっていった。バイリンガル (2カ国語) でサービスを提供できるようになり、経費を削減する方法も学び、ホテルで主催されるようになった。つまり、自分たちのサービスのやり方を見直し、それによってYCNAもぼくらも成長の歩みをとめずにいられたというわけだ。また、メッセージを運ぶ方法でも改革を行った。経費が増すことになっても、手頃な料金でコンベンションに参加できるようにしたのだ。そういうことがケベックの地域サービス機構に風穴を開け、今も風通しをよくしている。

NAは年齢に関係なくだれでもつながれることにはなっているが、過去にはやはり画一的なところがあった。ぼくらは若いメンバーとして必ずしもすっかりNAに溶け込んでいたと思えたわけじゃないし、だからこそYCNAを開催するようになったのだ。さすがに今では、ぼくらがサービスミーティングや委員会からのけ者扱いされることは少なくなっている。「ユース コンベンション」なるものが存在することで物議をかもしたとしても、ぼくらがサービスに関わってNAの役に立つ方法を学ぶのをやめさせることなどできはしないのだ。

そして今、ぼくらは何もかも一からやり直そうというところに来ている。第1回のYCNAは学校で開催したものの、このコンベンションはもう何年にもわたってホテルで開催されるようになった。ここで、ぼくらは原点に戻ろうと思ったのだ。これだけの年月を重ねるうちに、ぼくらの主な目的は何度も進化してきたが、その目的とは、ユニークなやり方で回復を祝うことだけではない。使うのをやめたいと願う人であればだれでも仲間になれるようにすることと、NAという仲間の集まりの役に立つことでもあるのだ。これは回復を祝うイベントなのだから、だれであろうと参加できる。「ユース コンベンション」に参加するのに若すぎる人なんていないからだ。

マシュー・F (カナダ/ケベック)



フェローシップ ディベロップメント

2015年7月にNAロシアは25周年記念のコンベンションを開催した。NAワールドサービス (NAWS) は、このお祝いに参加するとともに、いくつかのフェローシップ ディベロップメントに関するサービスを提供した。このように一回の旅で複数のイベントに出席したり、NAのイベントをPR (広報活動) やさまざまな取り組みと結びつけたりすることで、私たちは資源の有効利用に努めている。さて、今回の旅では、私たちはロシア、ウクライナ、モルドバ、カザフスタンを訪れ、さまざまなワークショップの司会進行を努めるとともにPR (広報) やH & I (病院施設) のサービスに参加した。

NA ロシア

「NAWS最新情報とQ&A」というセッションには300名のメンバーが参加し、「ロール・オブ・ゾーン (ゾーンの果たす役割)」というワークショップには200名ほどのメンバーが出席した。ワールドサービスカンファレンスでゾーンの代表を務めるという考えには強い関心がみられたので、ロシアのNAでは今後このような話し合いを続けていくことになるだろう。このほかにも、私たちはソーシャルメディアとアノニミティ (無名にとどまること) に関するワークショップの進行役を務め、150名ほどのメンバーが出席した。これについては、『ソーシャルメディア・アンド・アウェア・ガイディング・プリンシプルズ (ソーシャルメディアと私たちが指針とすべき原理)』というサービスパンフレットによって、メンバーの理解が増している。

NAロシアは197の町に広がり、446のグループによって毎週1,370のミーティングが行われ、5つのリージョンとおよそ50のエリアがある。そして、ソーシャルメディアでも4,000人のメンバーを抱えるグループがあり、インターネットによるサービス委員会を開いている。この委員会はオンライン・ミーティングを維持することで、インドネシア、イングランド、フィンランド、ドイツ、スペイン、タイなどの地域のロシア語を話すメンバーやロシア語によるグループを支援しているのだ。

NA ウクライナ

次は、NAの原理そのままに、国もちがえば経歴もちがう多種多様なメンバーがひとつになって回復を祝うイベントに出席するため、ウクライナのキエフを訪れた。

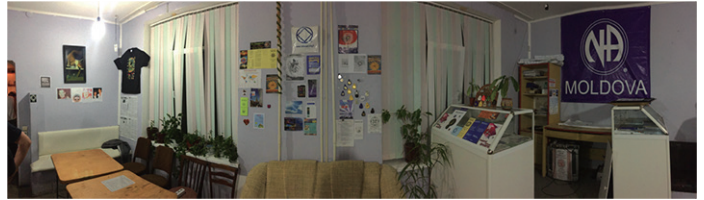
ウクライナのPR (広報) 委員会は、アクションと薬物をテーマとする行政機関主催のパネル・ディスカッションに参加した。この3時間にわたるセッションでは、まるまる30分間がNAの説明発表に充てられた。これによってウクライナのNAには、全国にある病院や施設に出入りする道が開かれたのだ。

一方、NAWSは「サービスの引きつける魅力と私たちのサービス機構」というワークショップの進行役を務めた。このワークショップはTVのトーク・ショーの形式にして、5人の奉仕を任せられたしもべがパネルになってサービスにまつわる経験をわかちあい、サービスに関わったことのない2人のメンバーが「ゲスト」として参加した。こうやって楽しく対話しながらお互いに刺激になるというやり方は、じつにうまくいった。「お客さん」で参加した2人のメンバーが、今や、ウェブサイトを開いてPR (広報) 活動に本腰を入れているのだから、これはもう大成功だ!



NAモルドバ

さらにモルドバへ足を伸ばし、第2回 モルドバ コンベンション



ンに出席した。モルドバのNAは、小さいながらもなかなか活発だ。NAワールドサービスや、NAロシアや、EDM (ヨーロッパアンチゲートミーティング) とも定期的にやりとりをしている。モルドバ語はルーマニア語の方言なので、ほとんどの人がロシア語もモルドバ語/ルーマニア語も話することができる。今回のコンベンションでは、EDMの資金提供によってルーマニアのメンバーがH & I と翻訳に関するサービスの研修に参加できることになった。それは、このメンバーの回復にも、成長にも、そしてNAルーマニアの未来にとっても、きわめて重要なことだったのだ。

モルドバのPR (広報活動) はとても充実している。首都キシナウでは、どの病院にもポスターが貼られているくらいだ。しかし、メンバーたちはH & I のパネルをまとめることに苦労しているため、今回の旅では私たちも一緒に取り組んだ。H & I に関するワークショップを行い、5人ひと組になって4つの病院を訪問したのだ。私たちは毎回、訪問を終えてから『H & I ベーシック』を復習して成果と改善点を検討するとともに、どのチームのメンバーもさらに多くの経験を積めるように役割を交代した。

NA カザフスタン

この長期にわたる実り多い旅も、カザフスタンのアルマトイで最後となった。ここでは、私たちがH & I、PR (広報活動)



、ASC (エリア サービス コミティ) について話し合った。カザフスタンのメンバーたちは、すでにいくつかのサービスを提供するようになっていたので、私たちが一緒に行った活動は団結力や計画性を高め、責任と説明責任を明確するのに役立った。

また、リッデルでは、第2回 カザフスタン コンベンションに出席して、リッデルのRSC (リージョナル サービス コミティ) と一緒にH & I (病院施設) とPR (広報) に関するワークショップの進行役を務めた。リッデルのRSCは、インターネットを通じて会議を開くことが当たり前になっている。そして発展途上のNAの例にもれず、カザフスタンのメンバーたちはロシアをはじめ、いろんな国の経験豊かなメンバーたちとソーシャルメディアによってつながっている。NAカザフスタンは、メンバー数こそ少ないが、新しい世代の奉仕を任せられたしもべたちが育ちつつある。それはとりもなおさず、この地でNAがこれからも発展を続けていくうえで重要な段階を迎えているということである。



NAワールドサービスに登録されているNAのグループやサービス機関が数日にわたるイベントを開催する場合には、NAのホームページとNA Wayマガジンの『カレンダー』によって情報を共有することができるようになっています。ここには以下のような期間で、NAのホームページにあるイベントスケジュールをもとにイベントの開催日程を載せてあります。申し込みや問い合わせについては、ホームページのイベント関連ページ www.na.org/events をご覧ください。

掲載号	イベント開催日程	掲載申し込みの締め切り
4月号	5月1日～7月31日	1月15日
7月号	8月1日～10月31日	4月15日
10月号	11月1日～1月31日	7月15日
1月号	2月1日～4月30日	10月15日

大事なお知らせ：NAでは2015年4月1日より、新たに定められたプライバシーに関する規則に従うことになりました。このため、NAのホームページにもNA Wayの『カレンダー』にも個人の連絡先に関する情報を掲載することはできません。ただし、NAWS (NAワールドサービス) に登録されているNAのグループ、エリア、リージョン、ゾーンであれば、それぞれのEメール・アドレスもしくはウェブサイトイベントの問い合わせ先として掲載させていただきます。なお、イベントに関する情報を提出するにあたっては、私たちの「プライバシー ポリシー (個人情報に関する方針)」を読んだうえで同意することを求められます。この承認を経ないものは、『カレンダー』に掲載することはできません。

カナダ

オンタリオ 2月12日～14日「第9回 トロント エリアコンベンション」(会場) ダウントン・マリオット (場所) トロント (問い合わせ) www.torontonaconvention.org
モントリオール 3月11日～13日「第20回 ユース [ヤング] コンベンション」(会場) メソヌーブ・カレッジ (場所) モントリオール (問い合わせ) TEL: 514.817.4760

コロンビア

カルタヘナ 2月19日～21日「第1回 カルタヘナ エリアコンベンション」(会場) ホテル・ドラド (場所) カルタヘナ (問い合わせ) www.nacolombia.org/web

エジプト

ギザ 3月18日～20日「エジプト コンベンション」(会場) マスト・オペラハウス (場所) ギザ (問い合わせ) www.naegypt.org/en/

インド

オリッサ 2月5日～7日「第8回 インディアン リージョナルコンベンション」(会場) ブルーリリー・ビーチ・リゾート&ホテル・エンパイア (場所) プリ (問い合わせ) www.naindia.in/ircna-viii

ジャマイカ

グランド・ケイマン&コスメル 4月10日～16日「第4回 リカバリー・アット・シー」(会場/場所) モンテゴベイ、グランド・ケイマン&コスメル、フォートローダーデール・ポート (問い合わせ) TEL: 407.421.6525

ネパール

ベダテア 3月2日～4日「第5回 ネパール リージョナルコンベンション」(会場) ダンクタ (場所) ベダテア (問い合わせ) www.facebook.com/NRCNA5

ノルウェー

トリシル 3月6日～13日「スキー・アンド・リカバリー」(会場/場所) トリシル (問い合わせ) www.nanorge.org/events

フィリピン
カピテ 2月19日～21日「第21回 フィリピン リージョナルコンベンション」(会場) アイランドコープ・ホテル・アンド・レジャーパーク (場所) ケーウェット、カピテ (問い合わせ) www.napilipinas.org

タイ

パタヤ 2月12日～14日「第9回 タイランド リージョナルコンベンション」(会場) アジア・パタヤ・ホテル (場所) パタヤ (問い合わせ) www.na-thailand.org

英国

グラスゴー 3月25日～27日「第27回 ユナイテッド・キングダム コンベンション」(会場) ヒルトン・イン (場所) グラスゴー (問い合わせ) www.ukna.org/events

アメリカ合衆国

アラバマ 2月19日～21日「第19回 アウト・オブ・ダークネス/イントゥ・ザ・ライト」(会場) ダブルツリー・バイ・ヒルトン (場所) ジケーター (問い合わせ) www.alnwfl.org

2) 3月11日～13日「第19回 グレーター・モビール エリアコンベンション」(会場) マリオット (場所) モビール (問い合わせ) TEL: 251.391.0990

アリゾナ 3月11日～13日「第7回 メキシコ、アリゾナ、カリフォル

ニア コンベンション」(会場) シロ・イン (場所) ユマ (問い合わせ) www.maccna.org

2) 4月1日～3日「第19回 ウェストバレー キャンプアウト」(会場) レイク・プレザント・リージョナルパーク (場所) モリスタウン (出欠) TEL: 928.501.1710

カリフォルニア 3月24日～27日「第38回 ノーザン [北部] カリフォルニア リージョナルコンベンション」(会場) サンタクララ・コンベンションセンター (場所) サンタクララ (問い合わせ) www.norcalna.org

2) 3月25日～27日「第31回 サンディエゴ/インベリアル・カウンティーズ リージョナルコンベンション」(会場) ベイフロント・ヒルトン (場所) サンディエゴ (問い合わせ) www.sandiegona.org

デラウェア 3月11日～13日「第12回 スモール・ワンダー エリアコンベンション」(会場) チェイス・センター・オン・リバーフロント (場所) ウィルミントン (問い合わせ) www.smallwonderarea.org

フロリダ 4月21日～24日「第38回 アラバマ/NW フロリダ リージョナルコンベンション ファン・イン・ザ・サン」(会場) ボードウォーク・ビーチ・リゾート (場所) パナマ・シティ・ビーチ (問い合わせ) www.funinthesunconvention.org

ジョージア 2月4日～7日「第35回 ジョージア リージョナルコンベンション」(会場) ルネッサンス・コンコース・アトランタ・エアポート・ホテル (場所) アトランタ (問い合わせ) www.grcna.org

2) 3月11日～13日「第2回 リカバリー・イン・アクション ニューカマー・イベント」(会場) ラマダ・イン・ホテル (場所) プーラー (問い合わせ) TEL: 912.272.1661

3) 3月25日～27日「第7回 リカバリー・バイ・ザ・リバー」(会場) アトランタ・リージョナルパーク (場所) ブランズウィック (問い合わせ) TEL: 912.506.0084

ハワイ 2月19日～21日「ケン・ソリューションズ・メンズ・リトリート [男性限定]」(会場) マカパラ・リトリートセンター (場所) カバアウ (問い合わせ) <http://na-hawaii.org/nahawaii-wp/>

カンザス 4月8日～10日「第33回 ミッド [中央] -アメリカ リージョナルコンベンション」(会場) アトリウム・ホテル&コンファレンスセンター (場所) ハッチンソン (問い合わせ) www.marscna.net

ケンタッキー 3月25日～27日「第30回 ケンタッキーアーナリージョナルコンベンション」(会場) クラウン・プラザ・ルーイビル・エアポート (場所) ルーイビル (問い合わせ) www.krscna.org

メイン 4月15日～17日「第17回 ブラザーズ・イン・スピリット・メンズ・リトリート [男性限定]」(会場) ノートルダム・スピリチュアルセンター (場所) アルフレッド (問い合わせ) bis@namaine.org

メリーランド 4月15日～17日「第30回 チェサピーク&ポトマック リージョナルコンベンション」(会場) ローランド・E・パウエル・コンベンションセンター (場所) オーシャンシティ (問い合わせ) www.cprcna.org

2) 5月6日～8日「第12回 ボルチモア エリアコンベンション」(会場) ハントバレー・イン、ウィングダム・グランド・ホテル (場所) ハントバレー (問い合わせ) www.baltoareana.org

マサチューセッツ 3月11日～13日「第5回 ノースイースト [北東部] マス エリアコンベンション」(会場) マリオット (場所) バーリントン (問い合わせ) www.nerna.org

2) 3月18日～20日「第17回 ポストン エリアコンベンション」(会

場) シェラトン・ホテル&コンファレンスセンター (場所) フレーミン
グハム (問い合わせ) www.nerna.org
ミシガン 3月24日~27日「第24回 デトロイト エリアコンベンション」
(会場) マリオット・アット・ザ・ルネッサンスセンター (場所) デト
ロイト (問い合わせ) www.michigan-na.org
ミネソタ 4月29日~5月1日「第23回 ミネソタ ステート コンベン
ション」(会場) セント・クラウド・リパーズエッジ・コンベンションセン
ター (場所) セント・クラウド (問い合わせ) www.naminnesota.org
ミズーリ 2月5日~7日「キャビン・フィーバー・プリベンション コ
ンベンション」(会場) ザ・ロッジ・オブ・フォーシーズンズ (場
所) レイク・オザーク (問い合わせ) www.cabinfeverconvention.org
ニュージャーシー 2月26日~28日「第26回 アウト・オブ・ザ・ダー
クネス・イントゥ・ザ・ライト パール・オブ・リカバリー コンベンシ
ョン」(会場) ストックトン・シービュー・ホテル (場所) ギャロウ
エイ (問い合わせ) www.pearlofrecovery.com/
2) 4月1日~3日「第8回 ショア・トゥ・リカバリー コンベンション」
(会場) パークレイ・オーシャンフロント・ホテル (場所) アズベリー
パーク (問い合わせ) www.oceanareaconvention.org/
ニューヨーク 2月12日~14日「第11回 メトロ・エリア・デ・ハブ
ラ・ヒスパナ コンベンション [スペイン語]」(会場) クラウン・
プラザ・ホテル (場所) ホワイトプレーンズ (問い合わせ) TEL:
917.930.8384
2) 2月26日~28日「第22回 ロチェスター エリアコンベンション」
(会場) ラディソン・ホテル (場所) ロチェスター (問い合わせ)
<http://rochesterny-na.org/>
3) 3月25日~27日「第10回 ブロンクス エリアコンベンション」(会
場) ヒルトン・ウェストチェスター・ライ・ブルック・ホテル (場所)
ライ・ブルック (問い合わせ) www.bronxareana.com
ノースカロライナ 2月26日~28日「第15回 フリーダム・バイ・
ザ・シー」(会場) シー・トレイルズ・ゴルフリゾート&コンベンシ
ョンセンター (場所) サンセット・ビーチ (問い合わせ) www.coastalcarolinaarea.org
2) 7月15日~17日「第23回 ニューホープ エリアコンベンション」
(会場) ダラム・コンベンションセンター (場所) ダラム (問い合

わせ) <http://newhopeconvention.com>
オハイオ 2月19日~21日「第19回 トレド エリアコンベンション」(
会場) ラマダ・ホテル&コンベンションセンター (場所) トレド (問
い合わせ) www.natoledo.com
2) 3月4日~6日「第13回 クリーブランド・レッグス エリアコンベ
ンション」(会場) ホリデー・イン・ロックサイド (場所) インディ
ペンデンス (問い合わせ) www.naohio.org
ペンシルバニア 2月5日~7日「第32回 MARLCNA」(会場) ラン
カスター・ホテル (場所) ランカスター (問い合わせ) www.marscna.org
ロード・アイランド 2月19日~21日「第8回 グレーター・プロビデン
ス エリアコンベンション」(会場) クラウン・プラザ (場所) ウオリ
ック (問い合わせ) www.gpana.org
サウスカロライナ 2月19日~21日「第15回 リカバリー・アット・ワー
ク (RAW)」(会場) ウェスティン・ヒルトン・ヘッド・リゾート&
スパ (場所) ヒルトン・ヘッド (問い合わせ) www.midcarolinana.org/
テキサス 3月24日~27日「第31回 ローン・スター リージョナルコン
ベンション」(会場) DFWレイクス・ヒルトン (場所) グレープバイ
ン (問い合わせ) www.lsrna.com
ユタ 4月1日~3日「第23回 ノーザン [北部] ユタ エリアコンベンシ
ョン」(会場) デイビス・コンファレンスセンター (場所) レイトン
(問い合わせ) www.nuaacna.org
2) 6月17日~19日「第9回 サザン [南部] エリアコンベンション」
(会場) ヒルトン・ガーデン・イン (場所) セント・ジョージ (問い
合わせ) <http://nasouthernutah.org/>
バージニア 2月26日~28日「第15回 タイドウォーター エリアコンベ
ンション」(会場) マリオット・ホテル・ノーフォーク・ウォーターサイ
ド (場所) ノーフォーク (問い合わせ) www.tidewaterareana.org
ワシントン 3月10日~13日「クリーン&フリー コンベンション」(
会場) オーシャン・ショアーズ・コンベンションセンター (場所) オ
ーシャン・ショアーズ (問い合わせ) www.wnirna.org

Get connected with NA eLit and Apps!

Apps

NA Meeting Finder

(includes daily *Just for Today* reading)

NEW!! Recovery Companion App

A companion app to support recovering addicts in daily life. Includes IP#9, *Living the Program*, JFT meditations, cleantime calculator, meeting locator, and group reading cards; and tools to help contribute financially to NA, call your sponsor, read NA literature... and much more.

Available on:



Amazon: <http://tinyurl.com/j3r9nd7>

Google Play: <http://tinyurl.com/p94vkby>

iTunes: <http://tinyurl.com/o74swbr>

* This does not constitute endorsement of/affiliation with these vendors.

eLit

Available on Amazon, Google Play, & iTunes*

Narcotics Anonymous

(Basic Text, Sixth Edition)

It Works: How and Why

The NA Step Working Guides

Sponsorship

Living Clean:

The Journey Continues

The NA Step Working Guides

An interactive version available on iTunes

Amazon: <http://tinyurl.com/ph5kl5k>

Google Play: <http://tinyurl.com/ngmez35>

iTunes: <http://tinyurl.com/harwjo4>

NAWS Product Update

7th Tradition Box

It folds flat for storage and pops up for use during meetings! The new 7th Tradition box features a drop-slot for contributions and is attractively decorated with NA artwork and 7th Tradition literature quotations.



Item No. 9111 Price US \$3.00/2.70 €

2016 JFT Calendar

Get your daily recovery inspiration and encouragement with excerpts from our *Just for Today* book. 4.25" x 5.25" tear-off pages with easel.

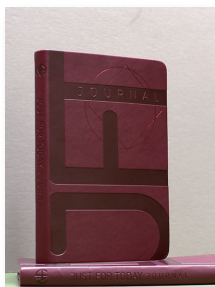
Item No. 9500 Price US \$11.75/10.40 €



JFT Journal

Keep a daily journal on pages enhanced with a year's worth of *Just for Today* excerpts and beautiful artwork, wrapped in a cover featuring a stylized JFT and NA service symbol in shades of burgundy.

Item No. 9405 Price US \$14.00/12.40 €



Stainless Steel Medallion Keychain Holder & Bundle

This solid satin-finished silver tone medallion-holder is etched with *share, just for today, gratitude, it works,* and the NA service symbol. The perfect pairing for your laser-etched, stainless steel medallion.

Keychain Holder Item No. 6090 Price US \$8.00/7.10 €

Special Bundle: Keychain and Medallion
Item No. 7500B – 7550B Price US \$16.50/14.65 €



Estonian

IP #1: *Kes, mis, kuidas ja miks*

Item No. ET-3101 Price US \$0.24/0.21 €



Finnish

Group Trusted Servants: Roles & Responsibilities

Ryhmän luotetut palvelijat: roolit ja vastuut

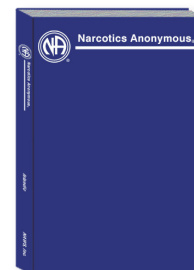
Item No. FI-2203 Price US \$0.24/0.21 €

Icelandic

Basic Text (5th Edition)

Narcotics Anonymous

Item No. IS-1101 Price US \$7.90/6.90 €



Polish

NA: A Resource in Your Community
Zasoby w Twojej społeczności

Item No. PL-1604 Price US \$0.40/0.33 €

Hungarian

Twelve Concepts for NA Service
Az NA Szolgálat Tizenkét Elve

Item No. HU-1164 Price US \$2.05/1.80 €

The Group Booklet

Füzet az NA Csoportokhoz

Item No. HU-1600 Price US \$0.95/0.82 €

Membership Survey

Tagjai Körében Végzett Felmérés

Price US \$0.30/0.27 €



Portuguese

IP #28: *Financiando os Serviços de NA*

Item No. PO-3128 Price US \$0.53/0.46 €

Ukrainian

IP #2: *Грпна*

Item No. UA-3102 Price US \$0.31/0.26 €



Coming Soon

Danish

6th Edition Basic Text

Narcotics Anonymous

Item No. DK-1101 Price US \$11.55/10.00 €

Hindi

Just for Today

सिर्फ आज के दिन

Item No. HI-1112 Price US \$9.00/7.90 €

Thai

Basic Text (5th Edition)

สมาคม ผู้ติดยาเสพติดนิรนาม

Item No. TH-1101 Price US \$7.90/6.90 €

WCNA 36 オリジナルグッズ

インターネットによる販売

www.na.org/wcna

ビーチサンダル、ビーチタオル、マグカップ、スニーカー.....
豊富な品揃えのなかからお選びください。
自分へのごほうびや、親しい仲間へのプレゼント、
スポンサーやスポンシーへの贈り物にも、どうぞ。

返品や交換はいたしません。
サイズや数量については、在庫に限りがあります。



NA Wayマガジンの所有権、経営管理、発行部数について

NA Wayマガジン (ISSN 1042-5421) は年に4回発行されています。ただし、購読料を必要とする出版物ではありません。出版局は19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311に所在し、郵便の宛先は 19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311となっています。編集責任者はド・ジェンキンスです。NA Wayマガジンは非営利法人であるNAWS Inc. ((NAワールドサービス社) に所有権があり、NAWS以外に社債権者、抵当権者、証券所有者となるものは存在しません。この法人格には、この記載に先立つ12カ月間で変更はありません。

頒布状	過去12カ月における平均発行部数	2015年10月1日現在の 実際の発行部数
a. 印刷部数の合計 (紙版による正味部数)	18,125	18,500
b (1) 郵送によるアメリカ国外の購読者	9,500	9,177
b (2) 郵送によるアメリカ国内の購読者	14	15
b (3) 外部への郵便による配布	8,563	8,777
c. 購読希望者の総数	17,582	17,969
d (4) 送料実質無料による配布数	400	320
e. 送料実質無料による配布数の合計	400	320
f. 総配布数	17,982	18,289
g. 配布されない部数 (出版局用)	143	211
h. 合計	18,125	18,500
i. 購読希望による発行部数の割合		97.8%98.3%
a. 電子版の希望者 (インターネットによる購読)	19,777	20,476
b. 紙版および電子版の購読希望者	37,359	38,445
c. 紙版および電子版の購読者の総数s	37,759	38,765
d. 購読希望による発行部数の割合	98.9%	99.2%

以上の記載に間違いはありません

